

「^お上山城^ろ」からのたより 初春・第190号

上山における薩摩藩邸焼き討ち事件の記憶

(公財)上山城郷土資料館学芸員 長南伸治

先月に引き続き、江戸時代末期の大事件、慶応三年十二月二十五日発生の江戸薩摩藩邸焼き討ち事件に関する小話をご紹介します。と思います。

薩摩藩邸焼き討ち事件とは、江戸市中で旧幕府への挑発行動を展開していた浪士の捕縛に向かった旧幕府側の一団(上山藩も含まれ)、同藩邸浪士との間で戦闘に発展した事件で、上山藩も死傷者を出しながらも事態の鎮静化に貢献しています。

さて、この事件は、当時、上山の人々にとって、どのように受け止められていたのでしょうか？以下、その点に関係する史料を二つご紹介いたします。

資料① 慶応三年丁卯十二月廿五日、江戸表に於て薩州藩乱暴の所為有るにより同屋敷表門八庄内勢裏門八上ノ山勢押寄する此時表門の庄内勢大勢なる故押出兼て裏門の小勢を見すかし薩藩一同押出て戦ひあり、上

山勢八小勢なれとも一騎当千の働きなり(出典：上山市史編集資料十八「上山見聞隨筆上」、一四六頁)

資料② 慶応三年十二月江戸薩邸焼打の際には、我藩よりは九名の戦死者と多数の負傷者を出したれば、一藩を挙げて戦役の悲惨なることを十二分に体験せしこと、て、戊辰の役起るや、老人婦女子等は何れも誠意を込めて神社仏閣に従軍者の安全を祈願せざるものなかつた。(出典：上山市史編集資料二十二「幕末・明治維新資料」、五八・五九頁)

資料①では、少ない兵数ながら「一騎当千の働きをした上山藩士の勇敢な戦いぶり」が記され、資料②では、同事件は上山の人々に、人命がいつも簡単に奪われる戦い

の「悲惨」さを思い知らせたショックな出来事であったと記されています。藩士の活躍は称賛すべきだが、やはり戦いは恐ろしい(できれば避けたい)。史料の文言を鵜呑みにするのは如何と思いつつも、これが偽らざる上山の人々の本音だったように思います。

上山城(西側) 薩摩藩邸焼打事件時帯刀 上山藩士 大野動作刀剣博物館記念

上山城 刀剣展



上山市史資料館

薩摩藩邸焼打事件時帯刀 上山藩士 大野動作刀剣博物館記念

上山市史資料館

「薩摩藩邸焼打事件時帯刀」の亮相 上山城の動向(中心)

講師 長南伸治(郷土資料館学芸員)

開催日時 5月25日(日)14:00開演(15:30開演) 会場 上山城1階特別展示室
定員 60名(予約制・先着順) 料金 入館料・資料料100円
お申し込みは上山城郷土資料館までお願いします。

会期 4月26日(土)～6月15日(日)
開催時間 9:00～17:15(最終入館16:45) ※随時入館可

会場 上山城1階特別展示室

料金 入館料(大人420円・小学生370円・小学生50円)
※14歳未満は大人500円・小学生400円・小学生200円
※1歳未満は無料(幼児は500円・小学生300円)
※1歳未満は無料(幼児は500円・小学生300円)

【お申し込み・お申し込み詳細は上山城郷土資料館まで】 999-2154 上山城郷土資料館 37
電話 023-473-3660 ファックス 023-487-0163 2-5-info@kantonoyama-castle.info

五日には講演会も開催します。先月に引き続きですが、企画展、講演会共々、みなさまの来場を心よりお待ちしております。

【常設展示室から】抽選で景品が当たる、クイズ上山城探検。を毎月実施中。クイズを解きつつ、ご見学をお楽しみください。